

**令和3年度第3回
富士見市障害者施策推進協議会議事録**

日時	令和4年3月22日（火）		開会	午後2時00分		
			閉会	午前3時20分		
場所	富士見市立南畑公民館多目的ホール					
出席者	委員	小菅委員	田嶋委員	朝倉委員	阿部委員	小川委員
		○	○	欠	○	欠
		木内委員	小池委員	国分委員	小寺委員	瀬尾委員
		欠	○	○	○	○
		高橋委員	長澤委員	橋本委員	藤山委員	古川委員
		○	○	○	○	○
		細野委員	和田委員			
	○	欠				
事務局	障がい福祉課 益子課長、水口副課長、三浦係長、池田主任、谷田主任					
公開・非公開	公開（傍聴者なし）					
議題	1. 協議会開会 2. 会長あいさつ 3. 議題 (1) 各部会報告 (2) 富士見市手話言語条例の推進方針の見直しについて 4. その他 (1) 事務局からの報告 (2) 次回の会議について 5. 閉会					

議事内容

事務局 会長	<p>1. 協議会開会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>季節外れの降雪となり、足元の悪い中の出席に感謝。本日も忌憚のないご意見をお願いしたい。</p>
部会長 会長	<p>3. 議題</p> <p>(1) 各部会報告</p> <p>・相談支援部会報告 別紙参照</p> <p>相談支援部会の下にはチームがあって、児童、就労、精神、地域生活支援拠点に分かれ、より細かい話し合いがされ、市と事業所とのネットワークから一体となり支援を進めている。</p>
委員	<p>災害時の避難行動要支援者の名簿については、高齢者や障がい者の作成が進んでいないなか、5月に地域防災のガイドラインの改正があった。福祉避難所を最初から指定して速やかな支援と個別支援計画の作成が努力義務となっているが、始まっているのか。障がいでは相談支援専門員が実施している自治体もでてきた。明石市は要綱を作って始まっている。</p>
事務局	<p>福祉政策課が主管となっているので、確認して次回報告したい。</p>
部会長 委員	<p>・権利擁護・コミュニケーション部会報告 別紙参照</p> <p>手話通訳士が足りていないため、前回の部会会議は、要約筆記がついた。しかし、会議には、なじまない。リアルタイムより遅れるので時間的ロスがある。手話通訳士がもっとほしい。もっと育てたい。要約筆記は見る場面が多くて、疲れる。障がい者の発言力が弱っている。また、点字資料などは前もって渡した方が良くと思う。障がいの特性に合わせてほしい。</p>
委員	<p>ヘルプマークは幅広く認知してもらおうもの。一步踏み込むとヘルプカードの方が具体的に踏み込めるので、進めてはどうか。埼玉県ヘルプマーク普及大使に選ばれ、1月に任命式を行い、県障害福祉課部長副部長、県知事と会議をした。ヘルプカードは、埼玉県は作っておらず、市町村ごとに作って</p>

<p>会委 長員</p>	<p>る。和光市など、知っているだけで8か所使っていないかった。県として、進めるべきと伝えた。ヘルプカードの記載対象は細かい。ヘルプマーク、ヘルプカードを障がいごとに分けて作ってわかりやすくするのも良いと思うので障がい特性に応じたヘルプカードを作してほしい。</p>
<p>会長 事務局 会長</p>	<p>手話通訳者が足りないという意見があったがどうか 専任手話通訳士は3名、登録手話通訳士3名だが実質2名。計5名。三芳町富士見市の依頼を受けるがニーズに足りていない。県事業も活用しているが県も足りていない。派遣が出せないということもある。通訳者養成事業も市から受託しており、初めての手話講座、奉仕員養成講座など受講者は増えたが、その次の段階の専門的な講座になるとぐっといなくなる。それを終了したとしても市の認定試験について、全国の統一試験に受かった人が富士見市の通訳士になれるという条件があり、ハードルが高い。今は少ない人数で踏ん張りつつ、養成をしている。</p>
<p>事務局 会長</p>	<p>ヘルプカードは市の裁量で変更ができるか。 その通り。</p>
<p>事務局 部会長</p>	<p>改良は可能か。 5年に1回くらいで見直し。 すぐには難しくても、よくなるように意見を聞きながら進めてほしい。</p>
<p>事務局 会長</p>	<p>(2) 富士見市手話言語条例の推進方針の見直しについて ・資料にそって、事務局から説明。 条例を定めても計画が見直しされないと施策は推進されない。あいさポーター研修も7,000名以上が受講している。手話言語条例を進める上でも大きな役割を担っている。 見直しについては、権利擁護コミュニケーション部会で協議した案で、改正ということによろしいか。</p>
<p>事務局</p>	<p>本協議会です承とする。 4.その他 (1) 事務局からの報告 令和3年12月4日(土)に開催した障がい者週間あいさポーターイベントについて、資料にそって、事務局から説明。</p>

<p>委員</p>	<p>本講演会は会場参加と zoom 参加ができたが、zoom は参加者がエリア内だけと思う人が多かったが、全国から参加ができる。周知方法を検討されたらよいのかなと思う。</p> <p>(2) 次回の会議について</p>
<p>事務局</p>	<p>今年度の会議は今回で終了。次回は 6 月か 7 月を予定しており、来年度は障がい者支援計画の 2 年目にあたるため、進捗状況の確認をする年。また、現在、障がい者支援計画の期間が 3 年であるが、国が 4 年度中にその計画期間を延ばす可能性があるため、通知待ちとなっている。</p>
<p>副会長</p>	<p>5. 閉会</p> <p>zoom の話ができたが、スマートフォンの移動通信が 4 G から 5 G になり、この場でもそういうものを利用できるよう検討してもよいかなと感じた。時代に合わせ、便利なものを活用していきたい。</p>